

## 8 . 空港

### ( 1 ) 丘珠空港の概要

丘珠空港（正式名称「札幌飛行場」）は、防衛省が設置管理する飛行場で、昭和 17 年旧陸軍航空隊が飛行場を設置したことに始まり、昭和 36 年に公共用の指定を受けた、防衛省と民間の共用飛行場である。札幌市の中心部から約 6 km という近距離に位置し、札幌と道内各地を結ぶ航空ネットワークの拠点や、防災、警察のヘリコプターの拠点として重要な役割を果たしており、小型機による測量、報道、写真撮影、遊覧飛行など幅広い業務にも利用されている。また、平成 28 年からはリージョナルジェット機が就航している。

#### 空港概況

種 別：共用空港

設置管理者：防衛省（防衛大臣）

位 置：札幌市東区

面 積：1,021,893m<sup>2</sup>（防衛省所管 896,373m<sup>2</sup>、国交省所管 125,520m<sup>2</sup>）

滑 走 路：長さ 1,500m × 幅 45m

運用時間：7 時 30 分～20 時 30 分（13 時間）

#### 沿 革

昭和 17 年 旧陸軍航空隊が飛行場を設置

昭和 36 年 共用飛行場としての供用開始（滑走路 1,000m）

昭和 42 年 滑走路延長（1,000m 1,400m）

昭和 49 年 年間利用者 703,545 人（過去最高）

平成 4 年 新旅客ターミナルビル供用開始

平成 16 年 滑走路延長（1,400m 1,500m）

運航会社（令和 7 年 1 月 31 日現在）

**株式会社北海道エアシステム**

使用機材：ATR42-600（プロペラ機、48 席）× 4 機

就 航 先：函館、釧路、女満別、奥尻（金、日）根室中標津、利尻、三沢（週 3 日）、秋田

**株式会社フジドリームエアラインズ**

使用機材：ERJ170（リージョナルジェット機、76 席）× 2 機、ERJ175（リージョナルジェット機、84 席）× 13 機

就 航 先：富士山静岡、信州まつもと、名古屋（小牧）（いずれも夏ダイヤ運航。名古屋（小牧）線は期間限定便の運航あり。）

**トキエア株式会社**

使用機材：ATR72-600（プロペラ機、72 席）× 2 機

就 航 先：新潟

乗降客数等の推移（国土交通省航空局「空港管理状況調書」より）

|          | 令和元年度   | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 乗降客数（人）  | 267,462 | 162,337 | 195,896 | 320,286 | 438,612 |
| 貨物取扱量（ト） | 1       | 0       | 0       | 0       | 1       |
| 着陸回数（回）  | 8,377   | 6,939   | 7,416   | 7,810   | 8,993   |

発着回数は、着陸回数の概ね 2 倍である。